

1. 次の英文を読み、A-1 から A-5 までの設問に答えなさい。解答は、それぞれの設問に対応する選択肢の1から3までの中から答えとして最も適切なものを一つずつ選び、その番号のマーク欄を塗りつぶしなさい。

The British air force rescued the crews of two stricken ships in stormy weather on Saturday as strong winds and driving rain battered much of Britain and Ireland.

A Royal Air Force (RAF) helicopter safely winched 16 crewmen off a cargo ship 32 kilometers off the southwest coast of England as the vessel began to list.

In a separate operation, an RAF helicopter from Lossiemouth in Scotland rescued 18 seamen off a French fishing vessel on Saturday morning. The boat sent distress signals on losing power on Friday 400 kilometers off the Scottish Western Isles.

<注> batter 痛めつける winch 巻き揚げる list 傾く

(設問)

- A-1 ヘリコプターは、貨物船をどのように救援したか。
1. 救助した乗組員を、イングランドの南西海岸まで運んだ。
 2. 乗組員を救助した後、傾き始めた船を元に戻した。
 3. 傾き始めた船から、乗組員をヘリコプターに収容した。
- A-2 貨物船の乗組員が救助されたのはいつか。
1. 金曜日
 2. 土曜日
 3. 不明
- A-3 この遭難信号を送信したのは何か。
1. 貨物船
 2. 漁船
 3. 漁船の救命艇
- A-4 何のためにこの遭難信号を送信したのか。
1. 漁船の遭難を知らせるため
 2. 貨物船の遭難を知らせるため
 3. 漁船と貨物船の遭難を知らせるため
- A-5 この救援は、どのように行われたか。
1. 貨物船と漁船を、別々のヘリコプターそれぞれ一機が救援した。
 2. 貨物船と漁船を、同じヘリコプター一機が救援した。
 3. 貨物船と漁船とその救命艇を、ヘリコプター二機が救援した。

- 2 . 次の A-6 から A-9 までの英文は、海上移動業務で行われる無線通信に関する国際文書の規定の趣旨に沿って述べたものである。この英文を読み、その内容を最もよく表しているものを、それぞれの英文に対応する選択肢の 1 から 3 までの中から一つずつ選び、解答は、選んだ選択肢の番号のマーク欄を塗りつぶしなさい。

A-6 Safety messages shall be transmitted, where practicable, on a working frequency after a preliminary announcement on 2182 kHz.

(注) preliminary announcement 予告

- 1 . 安全通報は、実行可能なときは、通信周波数で予告した後に 2182kHz で送信される。
- 2 . 安全通報は、実行可能なときは、2182 kHz で予告した後に通信周波数で送信される。
- 3 . 安全通報は、実行可能なときは、通信周波数及び 2182kHz で予告した後に送信される。

A-7 Any coast station using the carrier frequency 2182 kHz for distress purposes shall be able to transmit the radiotelephone alarm signal.

- 1 . 遭難通信のために無線電話警急信号を使用する海岸局は、搬送波周波数 2182kHz を送信することができなければならない。
- 2 . 遭難通信のために搬送波周波数 2182kHz を使用中の海岸局は、無線電話警急信号を送信することができる。
- 3 . 遭難通信のために搬送波周波数 2182kHz を使用する海岸局は、無線電話警急信号を送信することができなければならない。

A-8 The repetition of the distress message shall be preceded by the alarm signal whenever possible.

(注) precede 前置する

- 1 . 遭難通報の反復は、できる限り、警急信号を前置する。
- 2 . 警急信号の反復は、できる限り、遭難通報を前置する。
- 3 . 警急信号を前置したときは、できる限り、遭難通報を反復する。

A-9 The carrier frequency 4125 kHz is used to supplement the carrier frequency 2182 kHz for distress and safety purposes and for call and reply.

(注) supplement 補足する

- 1 . 搬送波周波数 2182kHz は、遭難及び安全のため並びに呼出し及び応答のため、搬送波周波数 4125kHz を補足するものとして使用する。
- 2 . 搬送波周波数 4125kHz は、遭難及び安全のための呼出し及び応答を行う場合に、搬送波周波数 2182kHz を補足するものとして使用する。
- 3 . 搬送波周波数 4125kHz は、遭難及び安全のため並びに呼出し及び応答のため、搬送波周波数 2182kHz を補足するものとして使用する。

- 3 . 次の設問 B - 1 の日本文に対応する英訳文の空欄 (ア) から (オ) までに入る最も適切な語句を、選択肢の 1 から 7 までの中からそれぞれ一つずつ選び、解答は、選んだ選択肢の番号のマーク欄を塗りつぶしなさい。ただし、選択肢の語句は、文頭にくるものも小文字で記してある。

(設問)

- B-1 A: 「お名前は何ですか。」
 B: 「私の名前は、リチャードです。」
 A: 「どうつぶりますか。」
 B: 「R-I-C-H-A-R-D です。」

- A: May I (ア) (イ) name, please?
B: My name is Richard.
A: (ウ) do you (エ) (オ) ?
B: R-I-C-H-A-R-D.

1. how 2. your 3. what is 4. it 5. have 6. spell 7. to ask

- 4 . 次の設問 B - 2 の日本文に対応する英訳文の空欄 (ア) から (オ) までに入る最も適切な語句を、選択肢の 1 から 7 までの中からそれぞれ一つずつ選び、解答は、選んだ選択肢の番号のマーク欄を塗りつぶしなさい。ただし、選択肢の語句は、文頭にくるものも小文字で記してある。

(設問)

- B-2 A: 「本船は、入港するのにタグボートをとらなければなりませんか。」
 B: 「 はい。貴船は、タグボートの支援が必要です。」

- A: (ア) our ship take tugboats to (イ) the (ウ) ?
B: Yes, you will need the (エ) of the (オ).

1. assistance 2. enter 3. must 4. tugboats 5. going into
6. port 7. helpful

- 5 . 次の設問 B - 3 の日本文に対応する英訳文の空欄 (ア) から (オ) までに入る最も適切な語句を、選択肢の 1 から 7 までの中からそれぞれ一つずつ選び、解答は、選んだ選択肢の番号のマーク欄を塗りつぶしなさい。ただし、選択肢の語句は、文頭にくるものも小文字で記してある。

(設問)

- B-3 海上移動業務では、安全通報は一般的にすべての局あてとする。安全呼出しに続く安全通報は、通信周波数で送信するものとする。

(ア) the maritime mobile service, the safety message shall (イ) be addressed to (ウ). The safety message which (エ) the safety call should be (オ) on a working frequency.

1. all stations 2. sent 3. generally 4. follows 5. in
6. that 7. transmitting

(CRA409-3)

